

令和7年第3回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
9月9日(火)	午前	1	高橋 妙子 議員		○	
	午後	2	齋藤 和也 議員		○	
		3	長井由喜雄 議員		○	
		4	近藤 隆行 議員		○	
10日(水)	午前	5	大島 靖浩 議員		○	
		6	田中 淑子 議員		○	
	午後	7	藤井 秀人 議員		○	
		8	土田 昇 議員		○	
		9	岡山 秀義 議員		○	
11日(木)	午前	10	小林 秋光 議員		○	
		11	齋藤 信行 議員	○		
	午後	12	宮路 敏裕 議員		○	
		13	タナカ・キン 議員		○	

令和7年第3回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	高橋 妙子 (一問一答方式)	1. 避難行動要支援者名簿について	(1) 避難行動要支援者名簿について	<p>①平成25年に「災害対策基本法」が改正され、自ら避難することが困難な方の避難行動要支援者名簿を作成することが義務付けられました。避難行動要支援者名簿はどのような方が対象となるか伺います。</p> <p>②避難行動要支援者名簿の作成において、対象となる方々にそれぞれどのように周知をされているか伺います。</p> <p>③避難行動要支援者名簿の目的と課題を伺います。</p>
		2. 新たな地域医療構想について	(1) 新たな地域医療構想について	<p>2040年に向け、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現に資するよう策定・推進を目的とした新たな地域医療構想ですが、2040年頃の医療をとりまく状況にはさまざまな課題があります。</p> <p>燕市においても、地域の実情に応じて必要な医療機能を維持していくことが重要な課題であることを踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①「転ばぬ先の医療」推進プロジェクトの現状を伺います。</p> <p>②新潟大学の地域医療DX共創イノベーションプロジェクトにおける遠隔診療支援と燕市での取り組み及び今後の展開について伺います。</p> <p>③新たな地域医療構想において、今後、県央基幹病院と県立吉田病院ではどのような医療機関機能が求められるとお考えか伺います。</p> <p>④これまでの地域医療構想は入院治療を中心に検討されてきましたが、2040年には在宅医療の患者が、85歳以上の高齢者で2020年より62%増加する見通しとなるため、新たな地域医療構想において、入院治療だけではなく、在宅医療への対応を強化すると示されています。今後一層、外来や在宅、介護分野との連携を強化することが重要となってきますが、市の認識を伺います。</p>

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	齋藤 和也 (一問一 答方式)	1. 教育につ いて	(1) 礼儀礼節 を学ぶ機 会につい て	<p>礼儀礼節とは、相手に対する敬意や思いやりを表す行動や作法のことで、社会や集団の秩序を保つために重要とされます。主に学校の部活動等の上下関係は、子どもたちが最初に経験する先輩・後輩の関係を実際に体験できる場であり、この経験が社会に出てからの上下関係の理解や礼儀作法に役立つとされています。しかし近年では、部活動の縮小や地域コミュニティの変化により、こうした上下関係を理解・体験する場所自体が減少しており、若い世代が礼儀礼節を実地で学ぶ機会が少なくなってきました。</p> <p>以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①部活動以外での「縦の関係性」や「年齢差を活かした学び」を体験させる工夫や取り組みについて伺います。</p> <p>②部活動縮小や地域活動が減少する中で、礼儀礼節を学ぶ新たな取り組みがあるのか、また検討されているのかについて伺います。</p>
3	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 柏崎刈羽 原子力発 電所再稼 働問題に ついて	<p>(1) 「柏崎刈羽原子力発電所に関するUPZ自治体要望書」とこれに係る対応について</p> <p>(2) 新潟・三条・佐渡ブロックの市町村長と花角知事との意見交換会について</p>	<p>7月18日、UPZにある7市町長が「柏崎刈羽原子力発電所に関するUPZ自治体要望書」を提出した。要望事項と知事の回答などについて、以下お聞きする。</p> <p>①7月18日に行った要望について、「要望書」の内容が市ホームページに掲載されていないのは何故か伺う。</p> <p>②重要な要望項目と認識する。要望が実現しない状況・状態で「再稼働」することは許容できないと考えるがどうか。</p> <p>③知事に対し「UPZ自治体の首長との意見交換の機会の創出」を要望しているが、単なる「意見交換の場」となりはしないか。</p> <p>④「UPZ自治体による研究会」の必要性について伺う。</p> <p>⑤「県民意識調査が終わった後の意見交換の場」において、再稼働の賛否は伝えるのか。</p> <p>⑥意見交換の場を求める前提の市民の声の把握について伺う。</p> <p>①7月18日に行われた懇談会について一部報道はされているが、発言内容は公表されていない。この会議において、原発問題に関し市長はどのような意見を述べたのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
3	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 柏崎刈羽 原子力発 電所再稼 働問題に ついて	(3)新潟日報 による 「県民調 査」につ いて	①新潟日報による「再稼働への賛否」を問うたアンケート結果が報道された。回答した燕市民も含む2,125人の内訳は、「どちらかといえば」を含む賛成が37.8%に対し、反対は43.8%となった。また、知事が「信を問う」としていることについて「適当な方法」を聞いた回答では、「県民投票」が57.2%と過半数を超えた。「再稼働」問題の過程で住民の意思を介さない決め方はもはや通じない。UPZ自治体の事前了解は重要な意味を持つものであり、市も事前了解権の確立を主張するべきではないか。
			(4)共同通信 社による 「避難所 準備状 況」調査 の回答に ついて	①全国の自治体を対象に避難所準備状況調査が実施された。燕市はどのように回答したのか伺う。
		2. 会計年度 任用職員 の処遇改 善につい て	(1)事務処理 マニュアル(第2 版)の改 正につい て	<p>総務省は令和7年6月25日付で、「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル(第2版)の改正について」を発出した。会計年度任用職員の処遇の改善を前提に、主に今回の改正内容と燕市における改善の姿勢についてお聞きする。</p> <p>①問13-4、「給料または報酬の水準について、職務遂行上必要となる知識、技術および職務経験との要素を考慮して定めるべき」の総務省の考えと燕市の対応について伺う。</p> <p>②問13-5、「給与または報酬の水準に、一定の上限を設ける必要はあるか」に対する総務省の考えと燕市の対応について伺う。</p> <p>③問13-6、「例えば、保育士や看護師等の専門職種の給与について、1級に加え2級相当の水準に決定することは可能か」についての総務省の考えと燕市の対応について伺う。</p> <p>④問13-7、「再度任用時の給与決定」について、総務省の考えと燕市の対応について伺う。</p> <p>⑤問13-8、「大卒新卒者を事務補助に採用する際の給与決定」等の考えについて、総務省の考えと燕市の対応について伺う。</p>
		(2)正規採用 者の勤続 状況及び 会計年度 任用職員 のフルタ イム雇用 について	<p>①合併後の正規採用者の勤続状況について伺う。</p> <p>②近年特に正規の新規採用者の早期退職が増えているように感じる。約6割を占める会計年度任用職員の重要性は増しているのではないか。フルタイム雇用にしていくことについて伺う。</p>	

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
3	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	2. 会計年度 任用職員 の処遇改 善につい て	(3) 休暇制度 と交通費 について	①休暇制度について、正規職員との差を解消することについて伺う。 ②交通費が正規職員と差をつけているのは何故か伺う。
4	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. ライフス テージに 応じた切 れ目のな い子育て 支援につ いて	(1) 鈴木市政 での子育 て支援に ついて	①市長は就任して現在に至るまで、子育て支援の充実に取り組んできた。市長は本年10月22日をもって辞職することを表明したが、これまでの子育て支援についての総括を伺う。
			(2) 出生数に ついて	①第3次燕市総合計画では、計画期間前半の令和5年から令和8年までは、年間472人の平均出生数を指すとあるが、現状は厳しい状況にある。その要因と今後の見通しを伺う。
			(3) 子育て支 援の認知 度につい て	①毎年夫婦の意識調査をしている公益財団法人によると、国の主要な8つの子育て支援制度の平均認知度は、3割に満たないとの報告がある。また、こども家庭庁が令和6年度に発表した若者の意識調査によると、自分の住んでいる自治体の結婚支援の取り組みの認知度は、未婚者で35.3%、既婚者で48.2%となっている。 市にはライフステージに応じた切れ目のない子育て支援が様々あるが、その認知度についての見解を伺う。 ②子育て支援のわかりやすい一覧表などがあると、市民がより理解しやすくなり、認知度も高まると考えるが、市の見解を伺う。
			(4) ライフキ ャリア教 育につい て	①ライフキャリア教育とは、結婚、出産、育児など、生涯にわたるあらゆるステージを「キャリア」と捉え、それを豊かにし、自ら切り拓く力を身につける教育である。この教育を実施している中学校・高校では、「進路や生き方を考える良いきっかけとなった」、「結婚や子育てに対して前向きに捉えることができるようになった」など評価が多い。 中学生・高校生の年代は、子どもから大人へと成長していく重要な時期で、この時期にライフキャリア教育を推進することは、将来のライフイベントを主体的に選択するための基盤を築く上で大きな意義がある。中学生・高校生でライフキャリア教育を行うことについて、市の見解を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	近藤 隆行 (一問一答方式)	1. ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援について	(5) これからの子育て支援について	①市は市内外の人から「子育てするなら燕市で」と評価されるよう、子育て支援の充実を図ってきたが、市は今後、子育てに必要な支援をどのように考えているのか伺う。
5	大島 靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市における人口減少と定住促進の実効性について	(1) 若年層・子育て世代の移住実績と傾向について	①過去5年間における市の移住支援制度を活用した移住者の年齢層・家族構成の内訳はどうなっているか。また、子育て世代の割合はどの程度か伺う。 ②移住後の定着率(5年後の居住継続率)はどのように把握しているか伺う。
			(2) 施策の訴求力と情報発信の効果について	①若年層・子育て世代に向けた移住促進施策(例:移住体験ツアー、オンライン移住相談)の利用実績と満足度はどうか伺う。 ②SNSやウェブサイトなどを通じた情報発信のターゲット設定と効果測定は行っているか伺う。
			(3) 子育て環境の整備と評価について	①「屋内こども遊戯施設」及び「こどもの森」などの子育て関連施設の整備状況と利用実績はどうか伺う。 ②保育施設の待機児童数や保育士確保の課題について、現状と今後の対応策はどうか伺う。 ③7月6日に道の駅国上において実施した子供服譲渡会における本市の取り組み及び事業結果について、昨年度との比較を含めた評価はどうであったのか伺う。 ④それに伴う道の駅国上の来場者数等はどうかであったのか伺う。
			(4) 若年層の就労・定着支援について	①地元企業との連携による若年層の人材確保や職場環境改善の取り組みはどのように進んでいるか伺う。 ②Uターン・Iターン希望者への就職支援はどのようなものがあるか伺う。
			(5) 今後の戦略とKPIの設定について	①「定住人口戦略」におけるKPI(重要業績評価指標)はどのように設定されているか伺う。 ②出生数の減少等、人口減少について市の考えを伺う。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	田中 淑子 (一問一 答方式)	1. 女性特有 の病気に ついて	(1) 乳がんについて	<p>日本人ががんと診断される確率は、男女共に2人に1人と言われています。第1位は大腸がん、2位・肺がん、3位・胃がん、そして4位は乳がんです。がん予防は個人にとっても社会にとっても大きな問題だと思います。その為、絶対的に必要な予防が検診です。早期発見・早期治療で生存率がとても高くなっています。</p> <p>乳がんは今9人に1人と言われています。私の身近で4人いらっしゃいます。32歳、45歳、63歳、そしてなんと92歳の方もいらっしゃいます。32歳の方は、92歳のお孫さんです。このように、乳がんは年齢にあまり関係なく、女性ならいつ発症するか分からないし、遺伝性もあります。母親や祖母が乳がんだった方は、1年に1回受診した方が安心だと聞きました。特に若い女性が発症すると、妊娠・出産に大きな悪影響を与えることは間違いありません。</p> <p>①女性特有のがんに対して、どのように捉えているのか伺います。</p> <p>②マンモグラフィは、何名くらいの方が受診しているのか伺います。</p> <p>③もし乳がん全適した場合、人口乳房の補助があるのか伺います。</p> <p>④乳がんや子宮がん検診をどのように周知しているのか伺います。</p>
		2. Jack & Betty プロジェクト について	(1) 海外派遣 について	<p>今回残念ながら、アメリカでのホームステイが急遽中止になり、担当の職員の方々が大変苦労されたと思います。何より楽しみにしていた生徒さんたちの落胆はとても大きかったのではと察します。</p> <p>大人になれば外国へ行く機会がありますが、その国の家族と一緒に生活できることは、とても貴重な体験だと思います。なので、今後もホームステイを継続してほしいと思いますが、市の考えをお聞きします。</p> <p>①中止になった経緯をもう少し詳しく伺います。</p> <p>②今の時点で、今後どのようにしていくつもりか伺います。</p> <p>③以前、アメリカのダンディ村やオーストラリアもあったと思いますが、ここはもう不可能なのか伺います。</p> <p>④燕市も外国の生徒さん達を受け入れていましたが、これも今は中止になっています。その理由を伺います。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
7	藤井 秀人 (一問一 答方式)	1. 人口戦略 について	(1)人口戦略 について	①当市においては、色々な人口減対策を実施することで人口減のスピードを鈍化させてきたが、今までの施策の中で何が効果的であったのか伺う。 ②今後、効果的成果として継続的に実施したい内容はどのような考えなのか伺う。 ③施策の成果として、移住者の増加数は直近でどのような推移になっているのか伺う。 ④新たな移住相談を担う「公益社団法人 ふるさと回帰・移住交流推進機構」が7月1日に発足したが、当市は自治体会員として参加しているのか伺う。 ⑤交流人口を増やすための、今後の具体的な考え等があれば伺う。
		2. 当市の風 水害の対 応につい て	(1)河川管理 の状況に ついて	①市内に流れている河川は、市・県・国別にどれくらいの数があるのか伺う。 ②河川管理のパトロール等はどのように実施されているのか伺う。 ③今後の水害対策の為の河川改修計画はあるのか伺う。
			(2)公共施設 内の樹木 や管理に ついて	①市民より道路等に出ている樹木の苦情は来ていないのか、また対応はどのようにしているのか伺う。 ②台風等で倒木の恐れもある樹木も見受けられるが、今後点検等はどのようにされていくのか伺う。
8	土田 昇 (一問一 答方式)	1. 市長の政 治姿勢に ついて	(1)大事業の 取り組み について	①2010年4月23日の燕市長就任以来、現在まで市政運営に取り組んでこられ、数多くの実績を作り上げてきたと思っております。その実績については、先の6月議会的一般質問の中で4点にわたり評価いたしました。市長就任以来の市政を振り返ってあいさつをされると伺っておりますので、この場で1点だけ、苦勞されたと思う下水道問題について考えを伺いたい。(普及率の向上について)
		2. 農業問題 について	(1)多面的機 能の予算 減額につ いて	①この質問は、去る3月議会で同僚議員が多面的機能の予算減額について質問しています。その時の答弁では、県からの予算に制限があり満額こない場合がある、それは毎年のことである、という答弁でありました。そのような状況であれば、県の予算が決定してから予算計上すべきと考えるが、どのような経過でそのようになるのか伺う。 ②多面的機能の予算は、今後農家にとって大変重要な予算となっていくと思うので、現場とよく確認していくべきと思うが、今後の対応について伺う。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
9	岡山 秀義 (一問一 答方式)	1. 学校施設の整備について	(1) グラウンド環境改善について	<p>①現状と課題について 市内の小中学校において、グラウンドは体育の授業や部活動、学校行事に欠かせない重要な施設である。しかし現場からは、老朽化による凹凸の発生、雨天時の水はけの悪さによる長期間の使用不能、乾燥時の砂ぼこりによる健康被害など、多くの課題が寄せられている。特に雨が降った後には、授業や練習が制限される学校もあり、児童生徒の学習活動に大きな支障を与えているのが現状である。 教育委員会として、各学校のグラウンドの現状をどのように把握しているのか、また学校や地域から寄せられている具体的な要望件数や内容を伺う。</p> <p>②安全面について グラウンドの凹凸やぬかるみは、児童生徒の転倒やけがの原因となり得ます。さらに土ぼこりは、ぜんそくやアレルギーを持つ子どもにとって深刻な健康リスクとなる場合もあります。こうした安全・健康面への影響について、市はどのように認識し、どのような対応を取っているのか伺う。</p> <p>③整備計画について 学校施設全般に計画的な維持管理が求められる中で、グラウンド整備については突発的な補修にとどまり、長期的な整備計画を考えるべきと思う。統合など保有計画も含め、市としてグラウンド整備の中長期的な計画をどのように策定しているのか。また、優先順位の決定にあたっては、利用頻度や安全性、地域利用の有無など、どのような基準で判断しているのか伺う。</p> <p>④グラウンド整備の財源について 学校施設の大規模改修には多額の費用が必要となります。国の交付金や県の補助制度を活用できる分野でもあり、積極的な財源確保の工夫が求められる。本市におけるこれまでの国庫補助や県補助の活用状況と、今後の活用に向けた考えを伺う。</p> <p>⑤地域との連携について 学校のグラウンドは、児童生徒だけでなく、学校開放利用、地域展開、地域住民のスポーツ活動や行事の会場としても広く利用されている。こうした地域からの要望をどのように把握し、整備に反映させているのか。また、PTAや地域団体との協働による草取りや小石拾い、側溝掃除など維持管理の取り組みを支援する考えがあるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	岡山 秀義 (一問一答方式)	2. 長善館で学んだ先人が私たちに伝えたことについて	(1) こどもたちへの継承について	<p>① 「つばめ長善プロジェクト」「長善タイム」の成果について 燕市の宝である長善館は80年もの長い間、燕市に開かれていた全国でも特に優れた実績を誇る私塾であり、1,000人を超える優秀な門下生を輩出し、燕市、新潟県、日本を守ってきた。まさにこの長善館が温故知新の視点となる状況とも言え、当時の志である「世の中の役に立つ、困る人の役に立つ人材を育てる」は、現在の教育方針の根幹そのものである。郷土を発展させ、国の発展に貢献する人材輩出を目指す燕市の志は、今でも当時と全く変わることはない。長善館の教えを継承し取り組まれてこられた子どもたちの可能性を広げる事業「つばめ長善プロジェクト」(長善館学習塾・Jack & Betty 教室・Jack & Betty サマースペシャル体験・英語スピーチコンテスト・つばくろロボキッズ教室・中学生理数トップセミナー・燕ミライトークセッション・燕ジュニア検定・広報つばめ子ども記者)また、全校で取り組んでいる「長善タイム」の成果について伺う。</p> <p>② 長善館の心は良寛さんの心でもある。勉学だけでなく、人を思いやる心を学ぶ大切な教えである。いじめの問題なども鑑み、今後つばめの子どもたちに伝えたい思いについて伺う。</p>
10	小林 秋光 (一問一答方式)	1. 臨時交付金を活用した「フェニックスクーポン 第7弾」について	(1) 発行の経緯と予算について	<p>① 発行に至った経緯について伺う。</p> <p>② 今回のクーポン発行に充てられた臨時交付金の予算総額はいくらであったか伺う。</p>
		2. 道の駅国上の指定管理について	(1) 利用客の利便性向上について	<p>① 道の駅大賞で全国10位獲得と北陸ブロック2位受賞の評価と今後の展望について伺う。</p> <p>② 施設のキャパシティ(利用者数と衛生面等)と駐車場整備の進捗状況について伺う。</p> <p>③ 今後、利用客の利便性向上に向けた取り組みはあるのか伺う。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
11	齋藤 信行 (一括質 問一括 答弁方 式)	1. 大河津分 水路工事 の残土利 用につい て	(1)大河津分 水路に流 れている 早向川及 び早向線 について	①早向線は渡部から国上を 通って野積に行ける道路 であるが、最近は道路脇に ゴミの不法投棄などがあり、 地元住民・自治会が迷惑を 被る地域になっています。 そこで、残土を利用し、早 向線を観光道路として整備 していただくのもよいので はないか伺います。 ②大雨などの際、土砂や大 きな石なども流れる早向川 は、地元住民から整備の要 望もあり、早向線と一体的 な整備ができないか伺いま す。
		2. 国上地区 の林道に ついて	(1)道の駅 国上も含 めたイン フラツ ーリズム につい て	①国上地区には、国上寺 から道の駅国上へ通じる 林道や国上集落から早向 線に行く道路があるが、 それらを活用したインフラ ツーツーリズムは考えられ ないか伺います。
		3. 分水桜公 園を含め た旧可動 堰につい て	(1)旧可動 堰は今後 どうなる のか	①残していただいた旧可 動堰の利用は、河川敷など も含め、分水桜公園をど ういう方向に持っていきたい のか、市の考えを伺いま す。
		4. 子育てす るなら燕 市の今後 について	(1)子育て するなら 燕市の今 後について	①燕市は現市長のもと、 様々な子育て支援策を講 じ、その効果があったと思 われ、最近では「ハレラテ つばめ」の子ども対応施 設が開設されましたが、 私が懸念しているのは、 その子どもたちが成人に なった時に燕市ではなく、 関東方面など他の地域で 生活するなど、燕市に残 らない現実があるのでは ないか。現在でも自分の 子どもでもままたらない 親御さんが多くいらっしゃ ると思います。様々な施 策の中で学費の支援など ありますが、現状と今後 について伺います。 ②今の若者の働き場所・ 遊び場所も都会と違うの ではないかと若者の話も 聞きますが、情報収集など 含め、市の認識を伺いま す。

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
12	宮路 敏裕 (一問一 答方式)	1. 定額減税 補足給付 金制度に ついて	(1) 定額減税 補足給付 金制度に ついて	<p>①本制度は、物価上昇のなか国民負担を緩和するための対策として、納税者と扶養家族を対象にした国の減税制度として、当初調整給付額を控除しきれない不足が生じた場合などに給付される。「広報つばめ」や市のHPにも掲載され周知が図られているが、該当者にはもれなく給付されることが肝要である。市の「お知らせ」で理解することは難しいという印象を持つが、該当するケースや対象者数をどう想定しているのか、認識を伺う。</p> <p>②給付手続きのために、市は給付金の該当者に「お知らせ」文書を送付する。その上で申請書を返送する場合とそうでない場合があるが、それらの概要について伺う。</p> <p>③市から「お知らせ」文書を送付しないが対象となる可能性のある事例とは、どういう場合を想定するのか伺う。</p>
		2. 国民健康 保険制度 について	(1) 短期保険 証、資格 証のあり 方につい て	<p>①昨年12月で保険証の新規発行は停止となり、国保証は7月末で有効期限を迎え、現行はマイナ保険証や資格確認書を使い受診する運用であるが、国保加入世帯の内、従来短期保険証や資格証の交付を受けていた世帯については、現行どのような対応になっているのか、またその世帯数を伺う。</p> <p>②政府は国保税滞納世帯への対応について、受診時の会計窓口で10割を支払うことが困難だという申し出があれば、市町村の判断により会計窓口で3割の支払いでよいとの措置とする閣議決定をしているが、承知しているのか伺う。</p>
			(2) 国保税の 負担軽減 について	<p>①国保加入世帯は高齢化や低所得者などで構成され、会社員の協会けんぽなどと比較して2倍近い保険税の負担を強いられる構造的問題を有しており、全国知事会や全国市長会などは、1兆円の公費投入により、協会けんぽ並みの負担となる軽減を国に対し繰り返し提言している。物価高、自営業のインボイス制度はじめ、国保加入者を取り巻く環境は厳しい折、当市の国保税負担軽減が求められるのではないかと、認識を伺う。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
13	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 児童の熱中症対策について	(1) 登下校時の熱中症対策について	<p>今年の夏は、まさに異常な暑さだった。男子児童が日中、日傘をさして歩いている光景は本当にびっくりしたものである。この暑さの中、15分も歩く大人はほぼいないことだろう。しかし、児童の中には学校まで30分、あるいはそれ以上歩いて通学する子もいる。何とかならないのだろうか。</p> <p>①学校が指導する登下校時における熱中症対策について伺う。</p> <p>②最近では冷却グッズを使用する児童もいるらしいが、市内の学校でも許可しているのか伺う。</p>
		2. 安心・安全のための信号機設置について	(1) ハレラテつばめの十字路に信号機設置について	<p>①待ちに待った屋内こども遊戯施設「ハレラテつばめ」がオープンしました。私はプレオープン期間の8月22日に見学させてもらいましたが、保育園児が大勢で来ていたこともあり、はしゃぎっぷりを見せてもらい、本当に良かったと感動しました。また、屋根付きの駐車場は、それだけで何か特別な場所に来たような気分させてくれます。しかし、残念なことに角の十字路に信号機が設置されていないのです。現在は、体育館と交通公園の前の道路に押しボタン式の信号が設置されているだけです。私は市民ですので、この場所を注意しながら通りますが、仮に市外から初めて来た人はどうでしょう。市外から来た人になったつもりで通ってみました。ここは県央大橋を渡ると最初の信号を左折し、土手を下ってくるのですが、抜け道になっていて車の通りも多いのです。坂を下ると十字路の先の押しボタン信号の青が目に入るので、減速しないことも考えられます。</p> <p>「ハレラテつばめ」の他に「こどもの森」、「交通公園」、「市民体育館・市民武道館」と人の集まる施設が集積しています。早急に信号機を設置する必要があるが伺う。</p>
			(2) 道の駅国上に信号機や横断歩道の必要性について	<p>①道の駅国上が県内の道の駅の中で高い評価を受けた。更にお客さんも増えると思っている。</p> <p>現在、道の駅に向かって左側に駐車場の拡張工事を行っている。これで更に300台ちょっとのスペースができると聞いている。またその後「良寛ミュージアム」の構想もある。今後観光客が更に増えるのは間違いないところである。しかし、この道の駅の前には信号機が設置されていない。信号機が必要ではないだろうか、伺う。</p> <p>②また「てまりの湯」に向かう道路は、道幅が広いが横断歩道がないため、右側の駐車場から道の駅へ走る様子もある。親が子どもを連れて出かける時、行った先で社会のルールを教えるものである。また、子どもは楽しい場所に行くとテンションが上がり、駆け出したりするものである。横断歩道の白線を引いていただきたいが伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
13	タナカ・ キン (一問一 答方式)	3. 公共下水道 汚水管 工事の入 札につい て	(1) 公共下水 道汚水管 工事の入 札につい て	<p>7月30日に開札された公共下水道汚水管工事(水道町八王寺⑥No.845-1-1 他)布設工事の一般競争入札の結果は、予定価格5,140万円に対して、落札金額も5,140万円と、落札率100%という結果だった。落札率100%もこれまでに無いわけではないが、立杭工法がこれまでのアート工法からコウワ工法ということである。</p> <p>①このコウワ工法について説明していただきたい。</p> <p>②市におけるコウワ工法の事例を伺う。</p> <p>③このコウワ工法だが、調べてみると全国会員は5社で、県内では燕市の落札業者(A社)だけである。これはこれで素晴らしいことであるが、今回の入札参加業者でコウワ工法で工事出来るのは何社だったのか伺う。</p> <p>④設計の時点でコウワ工法で工事出来る業者について把握していたか伺う。</p> <p>⑤予定価格と同額(100%)で落札したA社は工事を行うことが出来るが、最低制限価格を下回ったB社・C社が落札した場合は、工事を行うことが出来たのか伺う。</p>